

分科会等名：応用昆虫学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	農学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	昆虫は、地球上で最も繁栄した生物群であり、生態系の維持と人間生活に深く関わっている。学術的にも染色体の遺伝子地図、ミツバチの記号言語、体内時計の分子機構などノーベル賞授与につながる研究対象となっている。地球温暖化に伴い顕在化する新たな農林害虫や衛生害虫の管理は、喫緊の課題である。SDGsの観点から食料、環境、健康に関わる幅広い昆虫学の知見をもつ人材養成が求められている。異分野の協働により効果的に進め得る施策の立案は、専門性の高い学協会単独では困難である。農学委員会の中で唯一の動物系を担う応用昆虫学分科会として、俯瞰的視野に立って、学問的及び社会的課題の解決と教育研究基盤の充実を図ることを目的とする。
4	審議事項	1. 昆虫学が関わる社会的課題解決の情報発信 2. 昆虫学に関する教育研究基盤の充実に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年12月22日～令和8年9月30日
6	備考	